

病害虫発生速報

令和3年4月5日
第4号

対象作物：りんご

発信元 山形県病害虫防除所
TEL 023-644-4241(内陸)
0235-78-3115(庄内)

題名：前年被害葉からの子のう胞子の飛散を初確認！ りんごの生育に合わせた防除の徹底を！

1. 発生概況及び今後の予報

- (1) りんご黒星病の子のう胞子トラップ調査の結果、4月5日に子のう胞子の飛散が初確認された（4か年平均：4月6日、前年：3月22日）。
- (2) 県予察圃場（寒河江市）の生態調査では、りんご「ふじ」の展葉期は4月3日と平年より早い（平年：4月12日、前年：4月4日）。
- (3) 向こう1か月の天候は、気温が高いと予報されており、りんごの開花も例年より早まると予想される。

2. 防除対策

- (1) 前年の被害落葉の処分や堆肥散布による落葉の被覆等により、園内の伝染源密度低下を図る。
- (2) 園地をこまめに見回り、生育状況をよく観察し、「展葉期（花そう葉が2～3枚展葉した頃）」（写真1）、「展葉10日後」（写真2）の防除を実施する。特に、りんごの生育が平年より進んでいるため、防除時期を逃さないように注意する。
- (3) 黒星病は降雨によって感染するため、散布予定日に降雨が予想される場合は、散布を前倒しして降雨前に防除する。また、降雨が続く場合は、散布間隔があかないよう雨の合間を見て防除を実施する。



写真1 展葉期



写真2 展葉10日後

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。